



2014年4月入職

しまあやな
島 彩 菜

成長するために、避けては通れない道

体系立ったマニュアルが余裕を生み、さらなる気配りにつながる

以前は別の透析クリニックで働いていて、上京をきっかけに転職しました。善仁会を選んだ理由は、マニュアルがしっかりと整備されていたから。やるべきことの道筋を示してくれるので、働きやすいと思いました。たとえば透析を行う際も、消毒の手順やテープの固定方法などが綿密に定められています。「なぜこの方法だと針が抜けないのか」などの根拠もきちんと説明されているので、納得感を持った上で透析に臨むことができます。スタッフによって手順や方法が異なると患者さまに不安を与える可能性もあるため、体系立ったマニュアルがあることはスタッフと患者さまの双方にメリットがあると思っています。

ミスを未然に防げる体制があるということは、余裕を持って患者さまと触れ合えるということ。私は患者さまお一人おひとりの表情や声のトーン、動作などに目を向けることで、普段との違いに気を配っています。いつもは首を気にしていない方が痛そうにしていたら、何かのサインかもしれません。そのようなときは、まず緊急性がないかどうかを判断し、緊急性がない場合にはその理由を分析するための情報を集め、改善に向けて動いています。

高まるコミュニケーションの質



思いやりエキスパートになることを目標として目指していたものの、いざ候補に選ばれたときは、「自分でいいのだろうか」という不安が湧いてきたのを覚えています。しかし、自分自身が成長するためには避けては通れない道だと思い、研修に参加することを決めました。研修では、思いやりエキスパートとしてふさわしい身だしなみや言葉遣い、電話応対についてなど一つひとつのことを丁寧に教えていただくことができます。

私が研修を受けて特に大きく変わったと思うのが、言葉遣いです。たとえば、以前は自分のことを「ワタシ」と言っていたのを「ワタクシ」というようになったことでそれに続く言葉も丁寧になるように思います。それから、クッション言葉も、学んで良かったと思えることのひとつです。誰かに何かを頼むときに、ただお願いするのではなく、「お手数をおかけしますが」などの言葉を挟むだけで、受け手の心情は変わると教わりました。このように研修で得た知識をクリニックで実践しながら、ほかのスタッフのお手本となることが今後の目標です。プレッシャーはありますが、思いやりエキスパートとしての自覚と責任を持って日々の業務に励みたいと思います。



関わる全ての人に対して
誠実に向き合い、
思いやりの心で看護をしていきます。
島 彩 菜